

でんけん通信

「でんけん」とは伝統的建造物群保存地区の略称「伝建」に由来します

特集

農業における獣害と猟師の存在 ～人口減少と荒廃する土地～



発行者
佐々並支所 所属
地域おこし協力隊
オカモト カオル



サル・イノシシによる深刻な被害

佐々並で農業を始めてから、野生動物にまつわる話を聞く機会が増えました。鳥や大型・小型の動物は、時に農作物を食べちらかし、畦や畝を壊すことがあります。この地域では、取り分けサルとイノシシによる被害が甚大のようです。

三者三様の立場と想い

私が出会った農業に携わる方は、植えた作物がひとつ残らず食べられてしまい、獣に食べさせるために栽培しているようで、やりきれないと腹を立て、落胆していました。また、駆除してくれる猟師に感謝もしていました。

狩猟に携わる方は、手を合わせながら、動物には申し訳ないけれど、被害に困っている人のためにも、駆除せざるを得ないとお話されていました。

農業者でも猟師でもない方の中には、駆除という行いに対して、嘆く方もいました。

複雑に変化する環境とその対策

野生動物を駆除することなく、被害もないのが一番ですが、誰にでも簡単にできる有効な対策は現状ではないようです。

冬の寒さが厳しいと個体数が自然減少することもあるようですが、人口減少や荒廃した土地の増加が、野生動物にとって住みやすい環境となり、被害は止まることはありません。最近では、シカの生息域が拡大しているとも聞きます。

実際に私の畑もイノシシに荒らされました。これからどう対策すればいいのか、今後の活動のテーマのひとつとして、取り組んでいきたいです。



